

# コープ災害ボランティアネットワークニュース

第81号

発行 東京都生活協同組合連合会  
コープ災害ボランティア  
ネットワーク幹事会  
2015年11月  
Tel 03-6844-3563

## 来らせしらさぎは、いつも笑顔です！！

東日本大震災発災から5年目に入った今も東京都内には、約7,200人の方が避難されています。

「来らせしらさぎ」は中野区白鷺の都営住宅に避難されている方々と地元の方々が毎週金曜日に集うサロンです。中野区の社会福祉協議会が主催しています。

2012年の開催当初からボランティアとして参加されている、CO 災ボ会員の近藤宣子さんと藤田はるみさんにお話しを伺いました。



「髪、切った?」「今日のシャツ、きれいな色ね～」

布ぞうり作りのイベントや、さぎろく畑(※)から収穫されたトマトなどの差し入れもありと、和気あいあいのサロンです。

いつもの参加者が来ないことを心配していたけれど、今では、心配されるようになったのよ♪  
(と、笑顔のお二人)

お二人の話し掛けがきっかけとなり、今日もおしゃれの話に花が咲きます。

※鷺六高齢者会館の庭で NPO 法人シンプル高齢者健康福祉研究所と中野区社協の共催で避難者の方々が中心となり畑づくりを通して、交流の場づくりをしています。

- ♥「来らせしらさぎ」に3年以上参加して来られて、何かこれだけはと気にかけていることや、心がけていることはありますか?
- ♡ここに来ることは、参加者みんなの刺激になり、私たちも刺激を受けている、自然体でいること。
- ♡楽しんでもらえて笑顔で帰ってもらうこと、自分たちもここに来てしゃべって元気をもらっている。参加者のみんなと一緒に!
- ♡最初はドキドキしたが、今は普通の日常の会話を楽しんでいる。



◆◇◆東日本大震災を忘れずにいること、被災者の心にずっと寄り添うこと、お二人の活動からボランティアのあり方の一番大切なものが見えました。

8月7日毒蝮三太夫さん出演のラジオ番組が「来らせしらさぎ」から生放送。

## CO 災ボ会員の活動報告

2015.4 アンケートより

- サバイバルキャンプという名称で、被災体験イベントを開催。杉並区内の公園でデイキャンプ開催。今年は秋か冬に災害時の火の使い方を中心に行う予定。
- 小学校のPTAと図書ボランティアで読み聞かせ。防災関連の本を読んだ。
- 江戸川区区内で出前講座(高齢者の集う場、障がい児支援サークル、区内小学校放課後活動)で実施した。
- マンション管理組合で AED を設置した。AED 講習会を町会・消防と連携して行った。防災訓練も行なうことにした。

アンケートで報告いただいてから半年以上が経ちました。みなさんの活動もひろがっていることと思います。またみなさんで共有できる機会をもちたい、と考えています。

# 『まち歩き・マップづくり出前講座』 東久留米自治体別生協連絡会で開催



東久留米市自治体別生協連絡会で地域の防災・減災を話し合う中で、まち歩きを実施することになり、CO 災ボ幹事会は「まち歩き・マップづくり出前講座」の要請を受け、協力することにしました。

10月20日(水) 東久留米市自治体別生協連絡会メンバー19名の参加で実施し、講座のファシリテーターは、「まち歩きトレーナー養成講座」をスキルアップとして受けた会員が担当しました。

当日はすがすがしい秋晴れ、いつもメンバーが活動している西都保健生協の事務所近隣を防災・減災の視点で歩き、その後、防災マップを作成しました。この日作成したマップは、防災・減災の意識付けとなるよう、「くらしフェスタくめ」で掲示し、市民のみなさんに自分の住むまちの様子をみてもらう予定になっています。

CO 災ボ養成講座を受講した会員が地域防災にどのように関わられるか? 「地域での活動の仕方がわからない?」、「受講はしたけれど」…など、広げ方が難しく、課題になっています。

ファシリテーターの動きを追いながら、「トレーナー養成講座を受講してみようかな〜」「自分の地域で活動してみたいな〜」そのように共有できたらよいですね。

コース下見 8月19日(水) 快晴

■コース作りの為に、CO 災ボ会員(トレーナー養成講座修了者)でまち歩きです。実施は、8/19 暑い日でした。気づきがたくさんあるコース、まちの良さが見つけられるコース、当日楽しく実施できるコースを探しました。

実施当日 10月20日(火) 快晴

■開催時間の前にファシリテーターで、事前打ち合わせをします。その日の状況でコースを変えることなども必要になります。

- ① オリエンテーション1日の流れを伝えます。
- ② 「まち歩きの進め方」を参加者全員で確認します。



③フィールドワークに「出発!」です。



- ④地図の記入方法の説明
- ⑤マップづくり



ワイワイガヤガヤと地図に知り得た情報を入れ込んでいきます。みんなで出し合うことで、見落としや新しい気づきが生まれます。ファシリテーターは「マップづくり」のフォローをします。



## 【参加者からの感想】

- ・初めての経験だった、自分のまちでもやってみたい。
- ・防災の視点でのまち歩き、話を聞きながら歩いたのは参考になった。
- ・電線の多さ、消火栓のきまりの明示されていることなど、たくさん発見!!



学校に避難所の掲示



みんな笑顔です!

ファシリテーターは、目配り、気配りが大切です。安全に楽しく歩けるように、また多くの気づきを与えられるような情報提供も重要です。

## 【CO 災ボ会員・当日ファシリテーターの感想】

養成講座やスキルアップ講座で学んだことを活かす機会として自分の住む町ではないのですが、参加しました。他の会員の方々とコース作りから話し合い、自分たちで進めていくことは大変ですが、楽しい作業でした。防災・減災の情報を提供しながらまち歩きをするのですが、地元の方のお話から気づく事も多く、自分自身もいろいろ新しい発見があり、更にスキルアップできたと感じました。

『まち歩き出前講座』住んでいる町で実施してみませんか? 防災・減災のまち歩きを広げましょう!